



**複素数の計算**

複素数の四則演算では  $a + bi$  を、通常の文字式  $a + bx$  のように扱って計算し、 $i^2$  が出てきたら  $-1$  に置き換える。

**例 1** 和  $(1 + 3i) + (2 + 4i) = 3 + 7i$       差  $(5 + 3i) - (3 - 2i) = 2 + 5i$   
 積  $(3 + 2i)(2 - i) = 6 + (-3 + 4)i - 2i^2 = 6 + i - 2 \cdot (-1) = 6 + i + 2 = 8 + i$       累乗  $(1 + 3i)^2 = 1 + 6i + 9i^2 = 1 + 6i + 9 \cdot (-1) = 1 + 6i - 9 = -8 + 6i$

**問題 2** 次の計算をせよ。 (吉教科書 p.69 問 2, 3)

- (1)  $(2 + 3i) + (-8 + 2i)$       (2)  $(4 - 3i) - (-1 - 2i)$       (3)  $(\sqrt{2}i)^2$   
 (4)  $(-\sqrt{2}i)^2$       (5)  $(2 - i)(1 + 4i)$       (6)  $(\sqrt{3} + i)(1 - \sqrt{3}i)$

複素数  $\alpha = a + bi$  に対して、虚部の符号を変えた複素数  $a - bi$  のことを、 $\alpha$  の \_\_\_\_\_ とい  
 い、 $\bar{\alpha}$  とかく。

**問題 3** 次の複素数と共役な複素数をいえ。 (吉教科書 p.70 問 4)

- (1)  $2 + 3i$       (2)  $-1 - \sqrt{5}$       (3)  $\sqrt{2}i$       (4)  $-7$

(ヒント: (3) は  $0 + \sqrt{2}i$ , (4) は  $-7 + 0i$  と見ることができる)

**例 2** 分母に複素数があるときは、その共役複素数を分子と分母の両方にかけて、分母を実数にする。

商  $(3 + 4i) \div (1 + 2i) = \frac{3 + 4i}{1 + 2i} = \frac{(3 + 4i)(1 - 2i)}{(1 + 2i)(1 - 2i)} = \frac{3 - 2i - 8i^2}{1 - 4i^2} = \frac{11 - 2i}{5} = \frac{11}{5} - \frac{2}{5}i$

**問題 4** 次の計算をせよ。 (吉教科書 p.70 問 5)

- (1)  $\frac{1}{i}$       (2)  $\frac{3 + i}{2i}$       (3)  $\frac{2 + i}{2 - i}$       (4)  $\frac{1}{2 + \sqrt{3}i}$

複素数の四則演算について、2つの複素数の和、差、積、商は、また複素数となる。  
 また、実数の場合と同様に、加法、乗法について、交換法則、結合法則、分配法則が成り立つ。  
 さらに、複素数  $\alpha, \beta$  についても、次のことが成り立つ。

$$\alpha\beta = 0 \text{ ならば } \alpha = 0 \text{ または } \beta = 0$$

なお、複素数においては、大小関係は考えない。